



学校だより

☆き ら り V ☆

《めざす子ども像》
自分の思いが言える子
相手の気持ちがわかる子
いろいろなことに挑戦する子

令和8年7月9日（木） No.14

校長：須藤 美香 Tel：0880-24-0006

7月の生活目標：きれいな学校にしよう

連日の雨にちょっぴり気が重くなることもありますが、梅雨は夏の水不足を防ぎ、秋の豊かな実りをもたらすために欠かせない、自然界の大切な準備期間です。

梅雨明けももうすぐでは・・・。

授業紹介 1年生

1年生は国語科教材「おおきな木」で「語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する力をつけること」をめあてとし、場面の様子や人物の行動などから内容を捉え、「音読発表会をしよう」を単元のゴールとして学習を重ねました。物



1年生：武政仁美先生

語の中にある「うんとこしょ、どっこいしょ」というセリフは、みなさんも一度はお聞きになったことがあると思います。

7月8日には、2グループに分かれての「音読発表会」を行いました。どちらのグループも読み取ったことを表現豊かに発表することができていました。これは、毎日の家庭学習（本読み）の賜物です。



音読発表会の様子



ペア対話もしっかりとできています

音読（本読み）を家庭学習でする効果とは？

家庭学習での「音読（本読み）」には、単に「文字を正しく読む」こと以上に、子どもの脳と心を育てる驚くほどのメリットがあります。**4つの効果とは・・・？**

1 脳が活性化し、記憶力や集中力が育つ

黙読（目で読むだけ）に比べ、音読は「文字を見る」「声を出す」「自分の耳で聴く」という複数のセンサーを同時に使います。

2 正確に文章を理解する力（読解力）がつく

低学年のうちは黙読だと文字を読み飛ばしたり意味の塊を無視して読んでしまったりすることがあります。

3 話し言葉の表現力が豊かになる

教科書や本には、普段の会話では使わないような美しい表現や論理的な文章が書かれています。

4 親子（家族）とのコミュニケーションと安心感を生む

家庭学習ならではの最大メリットは「聞き手」になれることです。誉め言葉による達成感と自信を！

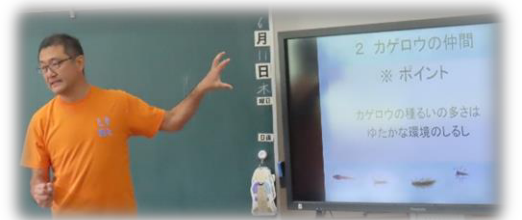
2年生:レッツゴー町探検！

生活科で行う「町探検」は、子ども達が学校の敷地を飛び出して、自分達が住む地域と初めて本格的に出会う生活科の大切な学習です。ただ景色を見て回るのではなく、地域で働く人やそこで暮らす人と関わる事が大きな目的です。探検を通して、町が多くの人々の仕事や工夫で成り立っていることを学びます。町探検は、子ども達が主体的に動く「小さな研究」の第一歩です。見せていただいたり質問をしたりとたくさん学ばせていただきました。



「地域の川の学習」 3年生:弘見地区の東又川へ 4年生:興津地区の後川へ

四万十川財団の方々に来ていただいて地域の川の学習を行いました。3年生は川に向かう前に「川虫は水をきれいにしたり他の生き物の食べ物になったりする役割があり、川の豊かさを守ってくれる大切な存在である」ことを学習し、その後弘見地区の橋のたもとに降りて「水生生物調査」をしました。カニやドンコなど様々な生き物を見つけ観察することができました。



4年生は干潟の役割や重要性について学習した後、興津地区の後川へ。興津地区の干潟には「ハクセンシオマネキ」という希少種がいることやカニやハゼなどたくさんの生き物が生息していることを知りました。

東又校区は、「豊かな自然」が自慢の一つですが、川での学習の機会は大変少ないです。子ども達は、実際に川に入り生き物の観察を通して「豊かな自然」を実感したのではないのでしょうか。



3年生

